

文藝中毒

石川啄木

青空文庫

我が田に水を引くといふことがある。當人は至極眞面目なのだらうが、傍^{はた}から見ると、随分片腹痛い場合がある。氣の毒でもあり、笑止でもある。新聞の論説や政治家の談話などといふものは、毎日のやうにそれを繰返してゐる。然しそれらには恕してやつて可い理由がいくらかもある。學者とか教育家とか謂はれる連中の沒分曉な我田引水論となると、私^はは其奴等の面を引叩いてやりたく思ふことが度々ある。

何時ぞやも、自分等の所謂先哲の遺訓なるものの内容が、どれだけ空虚になつてゐるかも稽へず「べからず」十五箇條を作つて天下の女學生を救はうと企てた殊勝な老^{としより}人達があつた。私はその事を新聞で見て、取敢ず笑つた。笑ふより外に仕方が無かつたのだ。笑つて了つてから、斯ういふ人達が早く死んで了つたら、嘸さつぱりするだらうと思つた。彼等は、彼等の定めた道德生活の形式に背反するやうな出來事を凡て墮落だと思つてゐる。そしてその墮落の原因を惡文藝の跳梁に歸してゐる。果然、在來の倫理思想の根本に恐るべき斧を下してゐるのが、彼等の學校で、其授業時數の大多數を擧げて教へてゐる科學教育そのものであることを知らなんだのである。斯ういふ連中は、恰度、喫煙者がニコチン中毒に罹り、オピウムイーターが阿片中毒に罹るやうに、慢性の倫理中毒といふ奴に侵さ

れてゐる。

斯う言つて來ると、私が彼等に對して文藝擁護論でも説き出しさうに聞えるかも知れない。事實は正反對である。私は今、倫理中毒の代りに文藝中毒といふ流行症が蔓延してゐる事實を指摘して、世の中の健康者の注意を促がす爲に此一文を草するのである。〔以下斷絶〕

青空文庫情報

底本：「啄木全集 第十卷」岩波書店

1961（昭和36）年8月10日新装第1刷発行

入力：蔣龍

校正：阿部哲也

2012年4月15日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（<http://www.aozora.gr.jp/>）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

文藝中毒

石川啄木

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>